

(6) 対 象

- ① 市町村教育委員会、公民館等の家庭教育担当者
- ② 家庭教育学級運営委員および学級生代表

(7) 講 師

福島大学教育学部教授 堀 口 知 明
 福島大学教育学部教授 菊 池 章 夫

(8) 助 言 者

福島県教育庁社会教育課員
 福島県教育庁教育事務所員

(9) 研 修 内 容

今日の地域状況のなかで家庭生活を見なおし、家庭教育のありかたをさぐる。

(10) 内容および方法

① 講 義

ア 地域社会の変化に対応した家庭教育 堀口講師
 イ 日常生活習慣の見直し 菊池講師
 ——テレビ視聴を中心として——

② 部 会

ア・イの講義題ごとに部会をもうけ、研究協議をする。

3 家庭教育（幼児期）相談事業

(1) 趣 旨

幼児（3歳第1子）の親を対象とし、幼児期の家庭教育に関する具体的な学習資料の提供と個別的な相談指導をおこない、幼児期における家庭教育の充実をはかる。

(2) 実施主体

福島県教育委員会

(3) 協力機関

市町村教育委員会

(4) 実施時期

昭和55年5月～昭和56年3月

(5) 対 象

県内の3歳児を第1子に持つ親 13,000名

(6) 事業の内容

- ① はがき、ちらしによる相談指導（年間9回）
- ② 巡回による相談指導（県内21会場）
- ③ テレビ放送（15分カラー 29番組）

(7) 各種委員会

① 企画運営委員会

ア 企画運営委員会は、本事業全般の企画運営ならびにはがき通信・巡回相談・テレビ放送による相談指導の方針や実施要項を策定する。

イ 企画運営委員

氏 名	役 職 名
堀 口 知 明	福島大学教育学部教授
菊 池 章 夫	〃
西久保 禮 造	〃
庄 司 他人男	〃 助教授
鈴 木 仁	福島県立医科大学助教授
須 永 秀 子	福島市立福島第二幼稚園主任教諭
梅 津 絹 子	主 婦
辺 見 正 治	福島市教育委員会教育長

氏 名	役 職 名
塚 原 喜 智	福島テレビ報道制作局長
有 川 勲	福島県保健環境部公衆衛生課長
熊 坂 嘉 助	福島県生活福祉部児童家庭課長

② はがき通信指導班委員会

ア はがき通信指導班は、はがきならびにちらしによる通信指導の企画運営にあたる。

イ はがき通信指導班委員

氏 名	役 職 名
西久保 禮 造	福島大学教育学部教授
関 口 はつ江	郡山女子大学短期大学部助教授
鈴 木 仁	福島県立医科大学助教授
山 脇 道 子	福島市立野田保育所長
須 永 秀 子	福島市立福島第二幼稚園主任教諭

③ 巡回相談指導班委員会

ア 巡回相談指導班は、巡回相談指導の企画運営ならびに相談事例についての研究を行う。

イ 巡回相談指導班委員

氏 名	役 職 名
庄 司 他人男	福島大学教育学部助教授
河 野 義 章	〃
小 森 澄 憲	郡山女子大学短期大学部助教授
林 偕 子	〃 講師
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学助教授
樋 口 勝 也	桜の聖母短期大学助教授
田 沼 悟	福島県立医科大学助手
谷 口 幸 子	中央児童相談所主任児童福祉司
珠 玖 淑 子	〃 心理判定員
小 向 哲 雄	会津児童相談所主任児童福祉司
本 郷 孝 旨	〃 児童福祉司
兼 子 芳 久	浜児童相談所心理判定員
神野藤 忠 吉	福島県教育庁社会教育課主幹

なお、企画運営委員より、堀口知明、菊池章夫委員と、はがき通信指導班委員全員が併任となる。

④ 巡回相談参加者

個別相談者数 (延) 440名

集団相談者数 368名

⑤ 巡回相談会場市町村 (21会場)

会津若松市、河東町、下郷町、伊南村、館岩村、塙町、矢吹町、郡山市、小野町、須賀川市、平田村、富岡町、北塩原村、北会津村、国見町、飯野町、福島市、小高町、鹿島町、いわき市（2回）

4 家庭教育調査研究事業

(1) 趣 旨

今日の家庭教育における課題を検討してその振興をはかるとともに、家庭教育資料を作成して活用をはかる。

(2) 実施主体

福島県教育委員会